



神話伝説の山里

たかちほごう

つうしん

「高千穂郷」通信

平成24年12月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.120

白銀の世界へ

五ヶ瀬 ハイランドスキー場 OPEN!



12月21日、**五ヶ瀬ハイランドスキー場 2013シーズン**が**OPEN**しました！
五ヶ瀬ハイランドスキー場、そこは南国宮崎のイメージからは想像もつかない**白銀の世界**。最上部の標高1,610m、九州随一のゲレンデは、南国宮崎にいな**天然のパウダースノー**、抜群の**スノーコンディション**です。最長滑走距離1,000mの**パラダイスコース**と最大傾斜30度の**ダイナミックコース**があり、**初心者から上級者まで楽しむことができます。**

晴天時には阿蘇五岳や九重山をはじめ、祖母山・傾山など九州中央山地の大パノラマを一望に見渡すことができ、まさに圧巻です！

また、事前の登録により、19歳の人限定でリフト券が無料になるプロジェクト『**雪マジ！19～snow magic～**』も実施中！

五ヶ瀬ハイランドスキー場に是非お越しください！！

【営業時間】8:00～16:30

【お問い合わせ先】スキー場案内：0982-83-2144
ゲレンデ情報：0982-83-2141

【ホームページ】<http://www.gokase.co.jp/ski/>



神代川河川再生計画検討会



神代川の現場にて

12月13日から14日にかけて、**神代川の川づくりについての検討会**を開催しました。

神代川は、高千穂町の浅ヶ部地区から町中心部を通って五ヶ瀬川に流れ込む河川で、**昔は自然豊かで魚も生息するきれいな川**でしたが、一方では洪水による浸水被害が頻繁に発生していたため、**昭和47年に河川整備**を行い、**安全な川**となりました。

しかし、**現在の川はコンクリート張り**で、**昔の面影が残っていない**ため、県と高千穂町では、昨年度から地域のみなさんや専門家の方々と共に**神代川の河川再生に向けた検討**を始めました。

今回の検討会では、神代川沿いを歩きながら地元代表の2名の方（荒立神社宮司 興相武重さん、高千穂町立中央公民館 田尻隆介さん）に昔の神代川について説明をしていただき、その後、神代川の河川再生に向け、どのように整備するか等の検討を行いました。

今後は、**まちづくりと一体となった川の整備**を、高千穂町と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。



検討の様子

道路整備と活性化策勉強会

12月5日、日之影町深角地区活性化協議会が主催する『**道路整備と活性化策勉強会**』に県庁出前講座の一環として、西臼杵支庁土木課の職員9名が講師として参加しました。

深角地区では、現在、国道218号高千穂日之影道路の深角ICの事業が進められており、**道路網の整備を今後の地域活性化にどのように活かしていくか**という観点から、今回の勉強会が企画されました。

勉強会には、20名程の地元のみなさんが参加され、今後のIC建設に伴い変化する地区の景観のあり方や川づくりの事例を紹介しました。



講演会の様子

県内初の快挙！

全国米・食味分析鑑定コンクール金賞受賞



金賞受賞された杜若さん
(写真中央)

12月7日、第14回**米・食味分析鑑定コンクール都道府県代表お米選手権**（米・食味鑑定士協会主催）において、**県内初となる金賞を受賞**された**杜若清文**さんが西臼杵

支庁を訪れ、興相支庁長に受賞の報告を行いました。

杜若さんは西臼杵地区うまい米づくり研究会に所属しており、例年管内トップクラスの良食味米を生産されています。今回出品された「ヒノヒカリ」は西日本の主要品種ですが、今大会では杜若さんの「ヒノヒカリ」が唯一の入賞となりました。

美味しいお米を作る秘訣について伺ったところ、「**基本に忠実な栽培管理、特に水管理が大事**」ということでした。

みやざき釜炒り茶「釜王」 首都圏に初上陸！

12月7日から9日にかけて、**東京都町田市**の**長峰製茶町田根岸店**において、西臼杵地区釜炒り茶フェアが開催され、先日みやざきブランドに認証された「**釜王**」をはじめとする西臼杵産の釜炒り茶の販売促進や、生産者による手炒り実演が行われました。

8日には「**釜王**」販売協力店認定証が首都圏の店舗としては初めて、長峰製茶町田根岸店、新橋店に交付されました。交付式では店長から「**首都圏で一番釜炒り茶を売るお店になりたい**。」との力強い言葉をいただきました。

今回の「釜王」のみやざきブランド認証をきっかけに、今後の首都圏での釜炒り茶の知名度向上が期待されます。



お客様にも大好評！

西臼杵ブロック民生委員・児童委員研修会



民生委員・児童委員研修会の様子

11月30日、高千穂町自然休養村管理センターにおいて**民生委員・児童委員研修会**が開催されました。

これは、西臼杵郡内の民生委員・児童委員を対象に、委員の知識や技能の向上、委員間の情報交換等を目的に年1回開催されているものです。

午前中は、九州保健福祉大学の井上教授による、地域社会での孤立・孤独をなくすための取組みについて、午後からは宮崎県男女共同参画センターの岩村専門役による、男女共同参画社会への理解について講義が行われ、民生委員・児童委員のみなさんは、今後の委員活動に必要な知識や心構え等の修得に努められました。

民生委員・児童委員は、現在、郡内で**97名**の方が厚生労働大臣から委嘱されています。

玄武山トンネル防災訓練

トンネル内での事故発生時における関係機関相互の迅速な対応と連携強化を図るため、国道325号、高千穂町の**玄武山トンネル**において、車両の玉突き事故を想定した**防災訓練**をこの程実施しました。

訓練には、高千穂町役場、高千穂警察署、西臼杵支庁から**総勢約30名**が参加し、事故発生時における**緊急連絡体制の確認**と**けが人の救出、交通誘導**を行いました。

トンネル内で事故が起きたときは、落ち着いて、トンネル内に設置してある非常通報ボタンで周囲に異常を知らせるとともに、直ちに110番、119番に通報してください。



救出活動訓練の様子

西臼杵地区SAP冬季大会



意見発表（津隈雅士さん）

12月14日、西臼杵支庁大会議室において、SAP活動の成果や意見の発表の場である**平成24年度西臼杵地区SAP冬期大会**が開催されました。

今年度は、意見発表に3名が出場し、将来自らが夢描く農業経営や日頃のSAP活動に対する意見発表が行

われました。また、プロジェクト発表には1名が出場し、我が家の農業の課題解決に向けた取組成果の発表が行われました。

さらに、各町SAP活動の取り組みや、SAP50周年記念大会などの報告も行われ、充実した大会となりました。

意見発表の部の最優秀賞を受賞した**津隈雅士さん（五ヶ瀬町SAP会議）**は、年明けの1月31日に開催される県大会に西臼杵地区代表として出場します。

西臼杵地区鳥インフルエンザ防疫研修

12月17日、西臼杵支庁において、西臼杵3町、高千穂警察署、高千穂地区建設業協会、西臼杵支庁など**鳥インフルエンザ**発生時に防疫活動に携わる関係機関の職員を対象に**防疫研修**を開催しました。

研修では、延岡家畜保健衛生所から鳥インフルエンザについて、高千穂保健所からインフルエンザの基礎知識について、西臼杵支庁から実際の防疫作業が行われるときの体制及び死亡野鳥を発見した際の取扱いについて説明が行われました。

その後、保健所の指導のもと、防疫活動時に着用する**防護服の着脱演習**を行いました。

万が一に備え、病気に関する知識と、作業に対する準備を各関係機関で共有できた研修でした。



防疫研修の様子



防護服の着脱演習

第3回「明るい町づくり事業」表彰式

12月1日、第3回「明るい町づくり事業」表彰式が高千穂町商工会で行われました。この「明るい町づくり事業」は、地域活性化、明るい町づくりを目指して、高千穂町商工会青年部が企画したもので、一昨年・昨年度に引き続き今回が3回目となります。

「高千穂の宝、アピールするもの」というテーマでデザインを募集したこの事業に、今年度、押方小学校、田原小学校が新たに参加し町内全ての小学校6年生が応募しました。

高千穂峡、神楽、高千穂牛など高千穂の宝をモチーフにした力作は全部で124点にのぼり、これらのなかから11の賞が選ばれ、表彰状が授与されました。

作品はすべて、小旗に印刷され、町中心部の街燈などに彩りよく取り付けられ、私たち住民や観光客のみなさんの目を楽しませてくれています。



みんなで記念撮影



街燈に取り付けて

西臼杵地域で栽培されている新品目「ダリア」の紹介です！

近年、注目を浴びている花「ダリア」は、鮮やかな色合いと花の大きさ（10cm程度のものから、大きいものでは30cmを超える）から、ブライダルに使われるなど、人気急上昇しています。

西臼杵地域では日之影町で平成17年から切り花生産が開始され、宮崎県の代表的な産地となっています。現在も徐々に生産面積が拡大してきており、今後は、地域を代表する品目として成長することが期待されています。

生産された「ダリア」は、切り花で主に福岡方面に出荷されており、ときどき家庭用として日之影町の道の駅などに出ていることもあります。（11月～5月末。但し不定期。）



「黒蝶」



「純愛の君」



「虹」



「サフラン」



「ベチカ」
※開花途中



「熱唱」

地域農産物を活用した加工品づくりが進んでいます！

高千穂町と五ヶ瀬町の9つの農村女性起業グループでは、今年度から「農産加工起業化モデル事業（県事業）」を活用して、魅力ある農産加工品の開発に取り組んでいます。

中でも、今年発足した高千穂町内の3グループ（あさぎり加工グループ、佐藤農園、山の学校ルート50）では、地元産の米粉や野菜等を使いそれぞれのグループで開発した漬物、ジャム、クッキーなどを、今回の事業で連携し「ふるさと便」としてセット販売することになりました。また、五ヶ瀬町ではパプリカゼリーやパッケージの開発など農村女性による新商品づくりが活発に行われています。



高千穂町の「ふるさと便」
（「鬼八の蔵」で12月末から販売）



パプリカを使った
ドレッシングと
ゼリー

「わけもん語り場」通信

12月19日、第7回わけもん語り場を「棚田食堂」で開催しました。

今回の参加者は6名でしたが、おいしい料理をつつきながら、県産材の利用促進方策、消防団の実情、婚活の重要性、教育問題などの話題で盛り上がりしました。

1・2月は、お休みをいただきまして、3月に再開予定です。次回の語り場の日時・場所については、2月号でお知らせします。



編集後記

本格的な冬ですから、最低気温が氷点下は当たり前、当然とても寒いです。私自身、こちらに移り住み2回目の冬ですから、もちろん分かってます。分かってますがとても寒い！寒さはまだまだこれからなのに、寒さが和らぐ季節が待ち遠しい今日この頃です。（眞）

*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課

TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html